

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

2 年 組

グループ

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 国語 |
|-------------------------------|-----------|--|--|---|-----------------|
| グループ名、人数 | | 2グループ 6名 | | 担当教員 | ◎松本 宮本(月) 鈴木(火) |
| ねらい | | (1) 日常生活などで使う言葉などの理解を深め、音声やサイン、カードなどで要求や応答のコミュニケーションができる。 (2) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 | | | |
| 年間授業時数 | | 70 単位時間 | 使用教科書 | ひとりだちするための国語(日本教育研究出版) | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通 年 | 挨拶 | 通 年 | ○挨拶、点呼 ▲名前を呼ばれて反応できる。個々のねらいに応じた課題を行う。 | ・生徒と視線を合わせて呼名する。 ・発声やサインで、挨拶をする練習をする。 | |
| | 個別課題 | | ○弁別(平仮名、カタカナ、名詞) ○なぞり書き、模倣書き ○マッチング、二語文、三語文 ▲一定時間、課題に取り組むことができる。 | ・集中しやすい教室環境にする。 ・繰り返しのある言葉などリズム感のある題材を選ぶ。 | |
| | みる、きく、さわる | | ○パネルシアター、絵本 ○NHK「お話の国」等の映像作品を視聴し、視覚や聴覚で楽しむ。 ○読んだ作品の内容に関するクイズをスクリーンに映し復習する。 ▲話を楽しみながら聞ける | ・野菜や動物など、生徒が身近に感じられる教材を選ぶ。 ・色や名前等の確認を意識的に行う。 | |
| 4 5 6 | 線なぞり | 10 | ○直線や曲線のなぞり書き ▲終点を意識して線を引くことができる。 | ・太線や印で、線や文字を見やすくする。 | |
| 7 9 | 名詞や動詞を知る | 8 | ○具体物の認識 ▲物の名前に気付き、対応させることができる。 | ・イラストや写真を使用し、生活と結び付ける。 | |
| | マッチング | 8 | ○関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ▲絵カードを組み合わせる。 | ・適切な反復による学習を進めるようにする。 | |
| | つながりに気づく | 9 | ○ルールを理解 ▲かるたなどのゲームを行い、ルールを学ぶ。 | ・理解しやすいよう、簡潔なルールで行う。 | |
| 10 11 12 1 2 3 | 読み聞かせ | 12 | ○絵本等に意識を向け、楽しむ。 ▲期待感をもって見ることができたか。 ▲繰り返しの言葉や話の展開を意識しながら、読み聞かせを聞くことができたか。 | ・身近な題材を中心に段階的に様々な文章に触れる機会を設ける。 | |
| | 線なぞり | 12 | ○なぞり書きや模倣書き ▲線や文字をなぞったり模倣書きしたりすることができる。 | ・扱いやすいサインペンを使用する。 ・線や文字の種類を複数用意する。 | |
| | 選択する | 11 | ○好きなものを選ぶ▲自分で選ぶことができる。 | ・食べ物等、興味のある題材を用意する。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| | | | | | |
|--------------|--|-------|---|---|----|
| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 社会 |
| グループ名、人数 | 2グループ 7名 | | 担当教員 | ◎川上 藤岡 | |
| ねらい | (1) 社会生活に必要な知識や技能を身に付ける。 (2) 地域社会への興味関心を広げ、思考力を養う。 (3) 学習したことを生かし、社会に主体的に関わろうとする態度を養う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 18 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 10 ～ 3 | 都道府県 ～ 世界の国々 | | ○都道府県ごとの生産品や有名な食べ物などを知る。 ○世界の国々の国旗や文化、暮らし、遺産などを知る。 ▲日本や世界の国々に関心をもつ。 | ・都道府県や世界の国々についてのニュース、イベントと関連付ける。 ・モニターや絵カード等を活用して視覚的支援を行う。 | |
| 10 | 地域の安全 | 4 | ○災害の内容や避難行動の確認をする。 ▲災害時の危険や避難行動を考えたことができたか。 | ・マイタイムラインを活用する。 | |
| 11 | 学校と居住地 | 4 | ○学校のある場所や通学路を中心に地域の様子を知る。 ▲地図に建物写真を貼れる。 | ・通学路の目印になる施設や店の名前を地図上にカードで貼る。 | |
| 12 | 交通ルールとマナー | 3 | ○自分が体験したことを表現する。 ▲交通ルール、マナーが分かる。 | ・よい例と悪い例を示す。 | |
| 1 | 社会参加ときまり | 3 | ○選挙の方法を知る。 ▲投票方法や多数決について理解できる。 | ・模擬投票を行う。 | |
| 2 3 | 都道府県 | 4 | ○都道府県を知る。 ▲都道府県名を答えることができる。 | ・都道府県かるたやパズルを繰り返し行う。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| | | | | | |
|-------------------------------|--|-------|---|-----------|---|
| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 数学 |
| グループ名、人数 | 2グループ 7名 | | 担当教員 | ◎杉山 横山 野中 | |
| ねらい | (1) 数量や図形の基礎的な概念や性質を理解する。 (2) 数、時間、お金など、学んだことを生活に活用しようとする。 (3) 生活に密着した数量の基本的な扱い方に慣れ、数量の概念をもつことができるようにする。 | | | | |
| 年間授業時数 | 70 単位時間 | 使用教科書 | ひとりだちするための算数・数学 (日本教育研究出版) | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | | 指導の工夫 |
| 通年 | 数・数量 計算 | 通年 | ○電卓処理 ▲電卓を使って計算処理ができる。 ○整数の表し方を知り、数量の比較や計量をする。 ▲具体物を数えることができたか。 ▲順序数を唱えることができる。 ○整数の足し算や引き算をする。 ▲簡単な足し算や引き算ができたか。 | | ・電卓などを利用しながら行う。 ・ICTを活用し生徒の学習意欲を高める。 ・興味ある具体物を教材にし、関心を高める。 ・ゲームなどの親しみやすい教材を使用する。 |
| 4 5 6 7 9 | 量と大きさ | 18 | ○大きさ、長さ、重さ、かさなどの比較をする。 ▲大小、長短などの違いが分かり、比較ができたか。 | | ・見た目で違いが分かる具体物を用意し、実際に比べて確かめられるようにする。 |
| | 図形 | 17 | ○いろいろな図形の頂点や辺の数に注目し、図形の違いを理解する。 ▲図形の違いに気付くことができたか。 | | ・図形の具体物を提示し、直線、曲線、頂点の数など、図形の特徴に注目できるようにする。 |
| 10 11 12 1 2 3 | 金銭 | 18 | ○硬貨や紙幣の種類や名称を確認する。 ▲硬貨や紙幣の種類や名称を知り、正しい硬貨や紙幣を選ぶことができたか。 | | ・硬貨や紙幣の実物を見せ、特徴を比較できるようにする。 |
| | 時刻と時間 | 17 | ○時計の時刻を答えたり、アナログ時計を動かして時刻を合わせたりする。 ▲アナログ時計で1時間単位の時刻を読むことができたか。 | | ・アナログ時計とデジタル時計を使用し、互換性を理解できるようにする。 |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 理科 |
|----------|--|-------|---|---|----|
| グループ名、人数 | 2グループ 7名 | | 担当教員 | ◎川上 藤岡 | |
| ねらい | (1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 17 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 4 | 植物 | 3 | ○植物の発芽、成長など ▲様々な植物の種類やその成長の様子を知ることができる。 ▲農園芸班の野菜や植物などを知ることができる。 | ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・農園芸班と連携して植物の観察をする。 | |
| 5 | 天気 | 4 | ○雲と天気の変化 ▲雲の量や動きなどによる天気の変化を知ることができる。 ▲防災にもかかわることが知ることができる。 | ・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・映像資料を用いて、分かりやすく示す。 | |
| 6 | 物質 | 3 | ○食塩や砂糖などを温度の違う水に溶かす ▲物が溶けると重さや味はどうなるのかを知ることができる。 ▲水に物が溶ける様子を動画等で知ることができる。 | ・映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・実験的に食塩と砂糖を溶かす体験をする。 | |
| 7 | 生物 | 3 | ○人や他の生き物の体のつくり ▲自分の体の各部位について知り、実際に動かしてみる。 ▲色々な生き物の体の違いについて知る。 | ・自分の体と比べながら学習する。 ・映像資料や模型等を用いて、分かりやすく示す。 | |
| 9 | エネルギー | 4 | ○身の回りにある電気・磁石 ▲電池のプラス極マイナス極などの知識を知ることができる。 ▲磁石の同極と異極を知ることができる。 | ・乾電池や電球などを使い、簡単な実験を行う。 ・磁石を用いて簡単な実験をする。 | |

令和⑧年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 音楽 |
|---------------------|--|-------|--|---|----|
| グループ名、人数 | 1・2グループ 10名 | | 担当教員 | ◎恩村（程田 坂尾 福田） （野中 高取 田中） | |
| ねらい | (1) 様々な楽器に親しみ、簡単な合奏を行う。 (2) 音楽に合わせて、体を動かすことを楽しむ。 (3) 鑑賞を通して、様々な国の音楽に触れる。 | | | | |
| 年間授業時数 | 70 単位時間 | 使用教科書 | くもんの写真図鑑カード楽器カード | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通 年 | 導入の音楽 終わりの音楽 | 通年 | ○伴奏に合わせて、楽器を鳴らす。 ▲音楽を聴いて、楽器を鳴らそうとしている。 | ・演奏するタイミングで、本人の目の前に楽器を提示する。 | |
| 4 5 | 身体表現 「リトミック」 鑑賞 「校歌」「日本 歌曲」 | 9 | ○音楽に合わせて、体を動かす。 ▲音楽を聴いて、自分なりに体を動かそうとしている。 ○日本歌曲に親しむ。 ▲情景を感じて聴くことができる。 | ・視聴覚機器や教員が目の前で見本を見せる。 ・イメージをもちやすいように、イラストや画像等を使用する。 | |
| 6 7 | 器楽 「和太鼓」「打 楽器」 | 10 | ○下打ちに合わせて、演奏する。 ▲下打ちのリズムに合わせて、楽器を鳴らそうとしている。 ○口伝に合わせて、演奏する。 ▲始まりと終わりを意識して、演奏ができる。 | ・演奏する前に、口伝の確認を行う。 ・教員が目の前で一緒に演奏する。 | |
| 9 10 11 12 | 器楽 「合奏」 鑑賞 「音楽鑑賞」 歌唱・身体表現 「文化祭に向けて」 | 31 | ○決まったリズムを、楽器で演奏する。 ▲リズムに合わせて、演奏しようとしている。 ○様々な国の音楽に触れ、様々な楽器の音色に親しむ。 ▲静かに鑑賞することができる。 ○文化祭に向けて、ダンスや器楽演奏の練習を行う。 ▲音楽に合わせて、体を動かしたり音を鳴らそうとしたりしている。 | ・演奏するタイミングが分かるよう、演奏する直前に言葉掛けを行う。 ・楽曲のイメージをもつことができるよう、視聴覚教材を使用する。 ・教員が目の前で手本を示す。 | |
| 1 2 3 | 器楽 「合奏」 歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」 | 20 | ○タイミングに合わせて、楽器を鳴らす。 ▲音楽を聴いて、タイミングよく楽器を鳴らそうとしている。 ○卒業式で歌う楽曲を知る、覚える。 ▲終わりが分かり、見通しをもって最後まで聴くことができる。 | ・演奏するタイミングが分かるよう、演奏する直前に言葉掛けを行う。 ・歌詞カードを使用する。 | |

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 美術 |
|------------------|--|-------|---|--|----|
| グループ名、人数 | 1・2グループ 10名 | | 担当教員 | ◎宮本 恩村 程田 川上 田中 | |
| ねらい | <p>(1) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。</p> <p>(3) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。</p> | | | | |
| 年間授業時数 | 70 単位時間 | 使用教科書 | 美術資料 東京の美術 (秀学社) | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 鑑賞 アートスキルトレーニング | 通年 | <p>○作品を生活の中で生かす。</p> <p>▲作品を介したコミュニケーションができる。</p> <p>○制作成功体験を積み重ね興味関心を高める。</p> <p>▲制作に興味をもち、活動できる。</p> <p>○自他の作品の価値に気づく。</p> <p>▲個々の作品に注目できる。</p> | <p>・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。</p> <p>・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。</p> | |
| 4 5 6 7 | オリエンテーション | 4 | <p>○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。</p> <p>▲制作活動に興味・関心をもち、活動に参加できる。</p> | <p>・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。</p> | |
| 9 | ポスターデザイン | 8 | <p>○経験した描画法や親しみのあるデザインを応用しポスターを作る。</p> <p>▲表す形を意識し、デザインできる。</p> <p>▲道具を適切に使い、紙を切断できる。</p> | <p>・制作方法を動画などで分かりやすく提示する。</p> <p>・反復し技術習得できるようにする。</p> | |
| | デザイン コラージュ | 14 | <p>○様々な技法や素材の構成。</p> <p>▲様々な素材や技法を一つの作品にまとめることができる。</p> | <p>・扱いやすい素材と道具を用意する。</p> | |
| 10 11 | 文化祭に向けた 取り組み | 14 | <p>○文化祭舞台道具を制作する。</p> <p>▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。</p> | <p>・同学年の仲間と協力し完成できることを意識できるようにする。</p> | |
| 12 | 絵画 | 14 | <p>○体験したことや季節の行事など身近な所から題材を見つけて制作する。</p> <p>▲期待感をもって、楽しみながら取り組むことができる。</p> | <p>・季節や制作イメージできる動画などを提示する。</p> | |
| 1 2 3 | 表現の広がり | 16 | <p>○情報機器や粘土等を使用して自分の世界観を表現する。</p> <p>▲アプリの使い方に慣れることができる。</p> <p>▲楽しみながら表現することができる。</p> | <p>・制作の過程を映像で見せることで興味関心を引き出す。</p> | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 保健体育 |
|--------------|---|-------|---|---|------|
| グループ名、人数 | 1・2グループ 11名 | | 担当教員 | ◎三浦（火）藤代、恩村、鈴木 （水）川上、飯樋、滑川、田中 （木）宮本、川野、横山、高取、齊藤 | |
| ねらい | (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、技能や動きを身に付ける。 (2) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付けることができる。 (3) 各種の運動における多様な経験をとおして、きまりやルールなどを守る。 | | | | |
| 年間授業時数 | 105 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 体づくり運動 | 通年 | ○集団行動、体ほぐしの運動、身体の動きを高める運動、ヨガ ▲友達と楽しみながら進んで運動することができる。 | ・音楽をかけるなど、楽しくできる雰囲気を作る。 | |
| 4 | 陸上競技 | 7 | ○短距離走（50m走） ▲短距離走の行い方を理解することができる。 | ・ゴールの少し先にゴールテープを張り、走りぬける練習を行う | |
| 5 | 体づくり運動 ダンス | 8 | ○創作ダンス、種具を活用した運動、集団行動 ▲音楽を意識して身体を動かすことができる。 | ・事前にペアや集団を決めて練習をする。 | |
| 6 7 9 | 体づくり運動 水泳 保健 球技 | 37 | ○走・跳・投に関するテスト ▲新体力テストのいくつかの内容を行うことができる。 ○水中歩行、アクアビクス ▲初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れることができる。 ○人との距離の取り方 ▲人との距離の取り方について理解することができる。 ○キックベースボール ▲ルールを理解し、チームのメンバーと協力してゲームをしている。 | ・可能な生徒は新体力テストの内容を行う。 ・水中でのダンスやビート板などを用いる。水中でのダンスやビート板などを用いる。 | |
| 10 11 | 球技 器械運動 | 20 | ○サッカー ▲積極的にボールを使った基本的な運動ができる。 ○マット運動 ▲器械、器具を使った運動に進んで取り組むことができる。 | ・当たった際に音がするものや、目標にしやすい的などを用意する。 | |
| 12 1 2 | 陸上競技 | 23 | ○長距離走 ▲記録会に向けて意欲をもって活動している。 | ・動画を活用し、イメージがもてるようにする。 | |
| 3 | 武道 | 10 | ○柔道・剣道・相撲 ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。 | ・動画を活用して、武道のイメージがもてるようにする。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 職業 |
|-------------------|---|-------|--|--|----|
| グループ名、人数 | 2グループ 7名 | | 担当教員 | ◎川上 杉山 | |
| ねらい | (1) 体験を積むことにより、働くことに対する関心や意欲、態度を育てる。 (2) 職業生活を見据え、必要なことを理解し実践する。 (3) 自己理解、他者理解を深め、職業生活に適應するスキルを高める。 | | | | |
| 年間授業時数 | 35 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 挨拶の練習 本日の体調、身だしなみの確認 軽作業 余暇活動 | 通年 | ○挨拶、返事、報告の練習 ▲進んで挨拶、返事、報告ができる。 ○自己紹介 ▲進んで自己紹介ができる。 ○体調や身だしなみの確認 ▲体調を伝えたり、身だしなみを整えたりできる。 ○軽作業(封入・仕分け・袋詰め・分別・色分け・ペン組立てなど) ▲一定時間集中して取り組むことができる。 ○音楽鑑賞など ▲小集団で行う余暇活動に、参加することができる。 | ・繰り返し挨拶や返事、報告を練習し、習慣化する。 ・気持ちを切り替え、集中力を高める。 ・体調確認を絵カードで表現できるようにする。 ・導入の学習の流れを一定にする。 | |
| 6 ・ 7 月 | 就業体験事前・事後学習 | 10 | ○就業体験先、仕事内容などの確認 ○就業体験の目標を設定する。 ○事前面談の練習 ○写真記録や実習日誌による振り返り ▲就業体験先の事業所や、作業・活動内容が分かる。 ▲就業体験で新しい体験を積むことに、進んで取り組んでいる。 | ・大型モニタを用いた視覚支援により、見通しをもちやすくする。 ・記入した実習日誌を用いて、振り返りやすいように支援する。 | |
| 9 ・ 10 月 | 現場実習事前学習 | 10 | ○現場実習先、仕事内容などの確認 ○現場実習の目標 ○面談の練習 ▲現場実習先の事業所や、作業・活動内容が分かる。 ▲現場実習で新しい体験を積むことに、進んで取り組んでいる。 | ・授業で複数回事前学習を行い、意識の定着を図る。 | |
| 12 月 | 現場実習事後学習 | 7 | ○写真記録や実習日誌による振り返り ○お礼状書き ▲目標の達成ができたか振り返るとともに感謝の気持ちを伝える。 | ・実習の際の写真記録を参考にしながら振り返る。 | |
| 2 月 | 卒業生のお話を聞く会 | 5 | ○卒業生のお話を聞く ▲落ち着いて先輩のお話を聞くことができる。 | ・身だしなみを整えて、参加できるよう支援する。 | |
| 3 月 | 2年の学習のまとめ | 3 | ○一年間の振り返り ▲実習でできたこと、職業で頑張ったことなどを思い出す。 | ・教科ファイルやDVDを用いて1年間を振り返る。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 家庭 |
|------------------|---|-------|---|--|----|
| グループ名、人数 | 1・2グループ 10名 | | 担当教員 | ◎ 杉山、武山、川上、滑川、高橋 | |
| ねらい | (1) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたいことを実現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 70 単位時間 | 使用教科書 | 外食のカロリーガイド | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 衣食住の生活 日常食の調理 住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 | 毎時 | ○準備、片付け、掃除、ゴミの分別 ○手洗い、消毒、衛生 ○道具の安全な使用 ▲準備、片付け、掃除の時間がわかり、教員の指示を受けながら、活動に参加できる。 ▲教員の支援を受けて、安全や衛生の確認ができる。 ▲自らエプロンに手を伸ばすなど身支度を整えようとする。 | ・手順や決まりを絵カードなどで掲示し、定着するまで毎回確認する。 ・爪、エプロン、三角巾、マスクなど身支度のチェックを指示されて行う。 ・教員と一緒に繰り返し行う。 | |
| 4 5 6 7 | 衣食住の生活 布を用いた製作 | 25 | ○スウェーデン刺繍(エプロンポケットの製作) ▲複数の選択肢から、好きな色の布や糸、模様等を選ぶことができる。 ▲教員の指示を受けながら、安全に作業を進めることができる。 | ・印をつけて針を通す位置を示す。 | |
| 9 10 | 日常食の調理 修学旅行に関する調理 | 12 | ○愛知県の郷土料理 ○郷土料理 ▲見本を見ながら食材をちぎる、切る、混ぜるなどの作業ができる。 | ・道具置き場に写真カードを提示し、繰り返し確認する。 ・同じ題材を繰り返し行い、調理方法に慣れる。 | |
| 11 | 衣食住の生活 布を用いた製作 | 8 | ○ミシンの取り扱い(作品制作) ▲コントローラーを押すことができる。 | ・教員の言葉掛けで、スタート、ストップをする。 | |
| 12 1 | 日常食の調理 | 11 | ○ホットプレートを使った調理 ▲教員の指示を受けながら、食材をちぎる、切る、混ぜるなどの作業ができる | ・同じ題材を繰り返し行う。 ・食材をちぎる等取り入れ、一人でできる部分を増やす。 | |
| 2 3 | 消費生活 | 14 | ○店でのルールやマナー ○商品の購買の仕方 ▲教室内の模擬のお店で商品を選択し、模擬のお金と交換して受け取ることができる。 | ・すべての金種を扱い、繰り返し行う。 ・メモ帳やペットボトルやエコバッグ等を用い、実際の買い物イメージしやすくする。 | |

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 特別活動 |
|---------------------|---|-------|--|--|------|
| グループ名、人数 | 学年全体 65名 | | 担当教員 | 学年教員 | |
| ねらい | (1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。 | | | | |
| 年間授業時数 | 35 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 4 | 高等部の生活を楽しまう | 6 | ○学年オリエンテーション (2年生の授業や行事を知る) ○学級目標決めと整理清掃活動 ○個人目標決めと整理清掃活動 ○係活動決めと整理清掃活動 ▲2年生の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。 | ・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるよう教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション | |
| 5 ~ 3 | 学級で活動しよう | 15 | ○学級活動(体育学習発表会・校外学習・文化祭・現場実習などの活動の理解、準備反省)と清掃活動 ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意思や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。 | ・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすきようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。 | |
| 6 7 | 修学旅行について | 4 | ○修学旅行について理解する ▲行程を具体的に知る。 ▲宿泊先や見学先の活動内容を知る。 | ・視覚教材を利用したり、選択肢を示したりして理解しやすくする。 | |
| 9 10 11 12 | 学年集会をしよう | 8 | ○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備と清掃活動 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の枠割をはたす。 | ・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。 | |
| 3 | 2年生のまとめ | 2 | ○学級目標反省と整理清掃活動 ○個人目標反省と整理清掃活動 ○係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気づき、尊重する。 | ・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 日常生活の指導 |
|----------|---|-------|---|--|---------|
| グループ名、人数 | S類型 46名 | 担当教員 | S類型担任 | | |
| ねらい | (1) 身だしなみなどに配慮しながら身の処事を処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。 | | | | |
| 年間授業時数 | 175 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 挨拶 返事 身辺処理 着替え 衛生 健康管理 朝の会 帰りの会 日直 係活動 | 175 | ○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身につけられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認したりすることで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。 | ・教員が模範となる。 ・要所で言葉かけを行い身に付ける。 ・継続して指導する。 ・場所を固定し動線を分かりやすくする。 ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。 ・定着するよう、継続して取り組む。 ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 生活単元学習 |
|----------------|-------------|--|--|------|--|
| グループ名、人数 | | S・O類型 62名 | | 担当教員 | B、C、D、E、F、G、H、I組担任 |
| ねらい | | (1) 行事の準備を通して内容を知り、目標をもって意欲的に活動する。 (2) 季節行事に関わる活動を通し、日本や外国の文化に触れる。 (3) 行事等の事後学習を通してできたことを振り返り、自信をもつ。 (4) 社会人になるための準備として、様々なことを経験する。 | | | |
| 年間授業時数 | | 35単位時間 | 使用教科書 | なし | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | | 指導の工夫 |
| 4 | 学校生活に慣れよう | 2 | ○授業内容や行事について知る ▲説明にそって必要事項を記入する。 | | ・各自のしおりに記入する。 |
| 5 | 体育祭を成功させよう | 5 | ○体育祭の事前・事後学習 ▲参加種目を意識して活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。 | | ・体育の学習と関連をもたせて指導する。 |
| 6 7 9 | 世界の国を知ろう | 3 | ○外国人講師との交流を通して、外国の行事や文化を知る。(ALTによる学習) ▲関心をもって外国人講師と交流することができる。 | | ・興味関心のある題材を使用し、外国人講師に自国の特徴や日本との違いを話してもらおう。 |
| | 校外学習に行こう | 4 | ○校外学習の事前・事後学習 ○校外を集団で安全に移動する。 ▲行事の内容を知り、意欲を高める。 ▲マナーやルールを守り行動できる。 | | ・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。 |
| | 修学旅行へ行こう | 6 | ○修学旅行の事前学習 ○校外の安全な歩行 ▲行事に見通しや期待感をもつ。 ▲マナーやルールを守り歩行できる。 | | ・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。 |
| 10 11 12 | 文化祭を成功させよう | 6 | ○文化祭の事前・事後学習 ○友達と協力しての道具制作を行う ▲自分の役割を意識して活動できる。 ▲友達と協力して製作する。 | | ・イメージがもてるよう視覚教材を使用する。 ・他の教科と関連をもたせて指導する。 |
| 1 | 選挙の仕組み | 3 | ○投票の流れの練習 ▲選挙の投票所での流れを知る。 | | ・視覚教材や実物に近い教材を使用する。 |
| 2 | 長距離走記録会に向けて | 3 | ○長距離走記録会の事前・事後学習 ▲記録会の内容を知り見通しをもつ。 | | |
| 3 | 卒業式にむけて | 3 | ○卒業式の内容を知りイメージをもつ。 ○儀式にふさわしい行動を学ぶ。 ▲落ち着いて儀式に参加することができる。 | | |
| | | | | | ・式の流れについて視覚的教材を用いて、見通しをもちやすくする。 ・落ち着いて参加できるように繰り返し行う。 |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 総合的な探究の時間 |
|----------|--|--|---|---|-----------|
| グループ名、人数 | | 65名 | | 担当教員 | 2年生教員 |
| ねらい | | (1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 | | | |
| 年間授業時数 | | 35単位時間 | 使用教科書 | なし | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 4 | 以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・国際文化 ・芸術 ・スポーツ ・環境 | 2 | 【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。 | ・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。 | |
| 5 | | 3 | ○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。 | ・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。 | |
| 6 | | 4 | ○生活に身近な情報の入手方法等を調べる。 | | |
| 7 | | 3 | ○地域の外国人とその人たちが大切に行っている文化や価値観について、調べたり、体験したりする。 | ・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。 | |
| 9 | | 3 | ○日本の伝統文化を調べたり、体験したりする。 | ・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。 | |
| 10 | | 4 | | | |
| 11 | | 4 | ○ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など | ・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。 | |
| 12 | | 3 | | | |
| 1 | | 3 | ○地域の自然環境や環境問題について調べたり考えたりする。 | ・問題意識をもち情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。 | |
| 2 | | 3 | ▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。 | | |
| 3 | | 3 | ▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。 ▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。 | | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 作業学習（エコワーク） |
|------------------|---|-------|--|--|-------------|
| グループ名、人数 | エコワーク班 13名 | | 担当教員 | ◎野中 武山、杉山、伊神、恩村、滑川 (月)高橋 (金)高取、齋藤 | |
| ねらい | (1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。 | | | | |
| 年間授業時数 | 245 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元（題材）名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃 | 通年 | ○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。 | ・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、VOCA 機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。 | |
| 4 ～ 3 月 | 紙工作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー | 245 | ○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、流し込み、紙すき、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。 | ・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせて、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。 | |
| 2 月 | 就業体験 | | ○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。 | | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 作業学習 |
|------------------------------|--------------------------------|---|---|------|---|
| グループ名、人数 | | クラフト班 13名 | | 担当教員 | ◎川上、坂尾、程田 |
| ねらい | | (1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。 | | | |
| 年間授業時数 | | 245 単位時間 | 使用教科書 | なし | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | | 指導の工夫 |
| 4 5 | ・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。 | 24 | ○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶、報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 | | ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。 |
| 6 7 8 9 10 11 | ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」 | 76 | ○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し、自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。 | | ・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。 |
| | ・現場実習 | 30 | ○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。 | | ・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。 |
| 11 12 | ・文化祭で製品を販売する。 ・販売に向けて製品を作る。 | 20 | ○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。 | | ・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。 |
| 1 2 | ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」 | 75 | ○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。 | | |
| 3 | 1年間のまとめ | 20 | ○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。 | | ・次年度につながる評価表にする。 |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 作業学習 |
|---|---|-------|---|---|------|
| グループ名、人数 | 農園芸班 11名 | | 担当教員 | ◎鈴木、宮本、藤代、菅原 | |
| ねらい | (1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。 | | | | |
| 年間授業時数 | 245 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通年 | 職業生活 | 通年 | ○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。 | ・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。 | |
| 4 | オリエンテーション | 2 | ○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。 | ・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。 | |
| 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3 | 農作物の栽培と管理 | 243 | ○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬などを使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。 | ・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気付けるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。 | |

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

| 学部 | 高等部 | 学年 | 2年 | 教科等名 | 作業学習 |
|-------------------------------|---|-------|---|--|------|
| グループ名、人数 | 食品加工班 12名 | | 担当教員 | ◎横山、飯樋、松本、三浦 | |
| ねらい | (1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。 | | | | |
| 年間授業時数 | 245 単位時間 | 使用教科書 | なし | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容 ▲評価の観点 | 指導の工夫 | |
| 通 年 | 職業生活 | 通年 | ○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」などが言える。 | ・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。 | |
| | 事務 ・販売POP作り ・シール貼り等 | | ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。 | ・ラベル貼りの補助具を活用する。 | |
| | 調理 「計量」 | | ○デジタルスケールの扱い方 ▲デジタルスケールの正しい使い方ができる。 | ・視覚的に分かりやすい表示をする。 | |
| 4 | オリエンテーション | 23 | ○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。 | ・写真やビデオを使い分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。 | |
| 5 6 7 | 調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売 | 67 | ○打合せ、目標の確認、本日の内容 ▲日誌に目標や作業分担を記入しながら、その日の活動が分かる。 ○身だしなみ、着替え、手洗い ▲身だしなみを整える順番を覚える。衛生面に気を付けて手洗いをする。 ○成型 ▲指示された通り、パンや焼き菓子の種類に応じた成型ができる。 | ・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業をする。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。 | |
| 9 10 11 12 1 2 | 調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売 | 135 | ○袋詰め ▲グラムや向きを合わせて製品を袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。 ○洗浄・片付け ▲すすぎ残しや拭き残しをなくす。 | ・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。 ・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・製品に応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。 | |
| 3 | 職業生活 1年間のまとめ | 20 | ○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。 | ・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。 | |